

種別

観光・余暇関係諸学会共同大会 発表論文提出様式 (タイトル 12 ポ、太文字)

サブタイトル (サブタイトル 11 ポ、太文字)

title (11 ポ)

sub-title (10.5 ポ)

氏名 (10.5 ポ右ソロエ)

Name (10.5 ポ右ソロエ)

E-mail (10.5 ポ右ソロエ)

著者は、所属である。(10.5 ポ 右ソロエ)

The author is . . . (10.5 ポ 右ソロエ)

要旨：

本論文は、… (論文・研究ノートには必ず要旨・英文 Summary をつけるようにしてください。10.5 ポ)

Summary：

This paper is (10.5 ポ)

キーワード : 3~5 程度のキーワードをお書き下さい (10.5 ポ)

Keywords :

本文は、フォントサイズ10.5ポ、2段組です。図表のフォントサイズは自由です。

以下は、例示です。

この部分を削除し、様式の下敷きとしてお使いください。

1 日中観光交流の現状と目標

日中観光交流の現状と目標を、アウトバウンド、インバウンド (ビジット・ジャパン・キャンペーン)、北海道宣言の数値目標から見てみると次の通りである。

図表1-1 アウトバウンドの数値目標から

	2005年 実績 万人	2010年 目標 万人	
日本から世界	1740	2000	1.14

2 問題意識と先行研究

日中観光交流を拡大するための条件にはどのようなものがあるか。

なものであるか。

○×大学○×学部○×学科では2000年から中国・北京への観光研修を実施しており、観光研修に際して獲得された調査データの積み重ねがある。2000年の研修参加学生を対象とした調査結果から、主な発見事実を整理すれば次の通りであった。

3 結論

以下、本文をこのスペースに記述してゆくようにして下さい。

■参考文献 (9ポ)

王偉・若月博延、2003、「観光の満足要因と不満要因Ⅰ；甘粛の観光を事例として」、『日本国際観光学会論文集』、第10号
王偉・若月博延、2005、「観光の満足要因と不満要因Ⅱ；甘粛観光の現状と仮題」、『日本国際観光学会論文集』、第12号
中条潮、2006、「観光立国への期待は妥当か？－観光立国への疑問－」、『運輸と経済』、第66巻、第6号